

11月上旬、1学年を対象に東京都市大学大学院 環境情報学研究科 佐藤真久教授を講師にむかえ『SDGsの本質を捉え、自身のあり方を考える』のテーマで講演会を実施しました。佐藤教授は『未来の授業 私たちのSDGs探求BOOK』の監修をされており、生徒たちはビジネス基礎の授業でこのテキストを使用しているので、どんなお話をしていただけるのか興味津々の様子でした。前週の講演会もSDGsについてだったのですが、SDGsについての視点が違っていたので、生徒たちは新鮮な気持ちで聴くことが出来ていたようです。

講演では、グローバルで複雑な問題（起動変動・エネルギー問題・貧困格差など）に対して、これからの時代がどうなっていくのかを世界的な動向を踏まえてお話されたり、SDGsの社会背景やSDGsの世界観、SDGsの特徴をお話しされたりしました。

最後に、持続可能性を考えるキーワードとして、4つレンズ（批判的なレンズ「見直す」、総合的なレンズ「つなげる」、変容的なレンズ「変わる」、文脈的なレンズ「地域で、世界で」）のメガネをかけかえながら見ていくことが大切だと締めくくられ、生徒たちはSDGsについて今まで以上に高い関心を持つことができたのではないのでしょうか。

